



## 学塾通信 7月号 (第115回)

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

7月18日(月・祝)は通常授業実施日です。

8月10日(水)から14日(日)はお盆休みです。

久々に中高生にお勧めの本を紹介します。『バトルマンガで歴史が超わかる本』(茂木誠著)です。聖徳太子が小野妹子を遣隋使として遣わせたことは、多くの人が知っていると思います。でも、何のために?と聞かれたら、答えられる人は少ないのではないのでしょうか。同じように、大化の改新で蘇我氏と中大兄皇子・中臣鎌足が戦ったことは知っているも、その理由まではわからないという人が多いでしょう。中学生の歴史の教科書にはざっくりとこのように書かれています。「蘇我氏が独断的な政治を行い、不満が高まっていました。」なんとなく、わかったようでわからない記載です。この本では当時の日本と唐との関係から大化の改新について、「歴史とは生き残りをかけたバトルである」という観点から漫画で明快に説明してくれています。これを読めば理解が深まり、自分でも人に説明できるようになると思います。また、あとがきまで読むと、茂木先生がこの本を出版した思いがわかります。歴史に興味がある人は一度読んでみてはいかがでしょうか。

さて、早いもので夏期講習会の準備をする時期になってきました。受験日までの到達点はこれまでお伝えしてきたことと変わりません。

### 合格率を上げる方法

入学試験の制度を知り

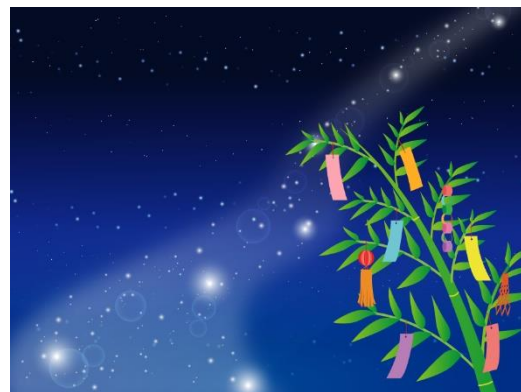
出題される問題、傾向を把握し

入試本番で「解くことができる問題」を確実に解く。

そこに向けて受験学年の一部の教科では2学期以降の予習も行います。春期講習会・課題テストからの流れで引き続き「解くことができる問題」を増やしていく時間です。9月以降の成績が受験校を決めるための大きな指標になることを考えると、夏期講習会で高いレベルの基礎固めを行っておかなければなりません。試験直前の冬までには、仕上げに取り掛かれる状態にしておく必要があります。

高校受験生の夏期講習会については、普段の学習の様子や課題テストの結果、または所属している部活動によって特進・個別・単科の3種類を提案させていただきます。

学力は一朝一夕で身につくものではなく、地道な頑張りの積み重ね。この夏は継続して学習する環境に身を置き、レベルアップをして9月以降に臨んでいただきたいと思います。



## ○夏期講習会のご案内

7月25日(月)から夏期講習会を実施します。

受験生にとっては、より多くの問題に触れ、経験が積める内容になっています。

長時間の学習になりますが、しっかりついてきてください。

毎年、学校の宿題を後回しにして、夏休み終わりギリギリになってあわてて取り組む姿を目にします。

夏休みが始まる前に学校の宿題に取り組む予定を立てておきましょう。

受験生以外も、個々のレベルアップや学習習慣を身につけるために夏期講習会の受講をお勧めします。

別紙として夏期講習会案内・申込書を同封しています。内容のご確認をお願いいたします。

**塾生の申し込み締め切りは7月9日(土)です。**

## ○空調について

座席によって冷房のあたり具合が変わります。寒さが気になる方は1枚、羽織るものをお持ちください。

## ○傘について

雨の多い季節になりますが、傘には名前を書くか、自分のものとわかる目印をつけてください。特にビニール傘を使っている人は、同じような傘があると間違えやすいので気を付けてください。

## ☆小学生☆

学校の帰りに自習に取り組んでいる塾生を見ていると、学塾を開校してよかったと思います。小学生のうちに自主学習の習慣を身につけておくことは、中学生以降のことを考えても本当に大切です。2学期以降も継続して来るようにしてください。

長期休暇中にお勧めする学習は「復習」です。大きく分けると漢字・読解・計算・文章題です。

学校から夏休みの宿題で出される内容と共通しますが、学校の宿題にしか取り組まないということがないようにしてください。学校の宿題+ $\alpha$ をするようにしましょう。

苦手な科目は1学期に取り組んだ内容に加えて前の学年までに行った学習を振り返ることができれば良いでしょう。逆に得意科目はじっくり考えるような問題に取り組むことをお勧めします。

必要に応じて夏期講習会も活用してください。

(小学生は早い時間帯を希望される方が多いです。そのため申し込みが遅くなればお席をお取りできない可能性もあります。)

## ☆中学受験生☆

学校説明会や進学フェアなどで、入試の過去問が配られます。

解いてみたい……という気持ちもよくわかります。しかし時期尚早です。夏休み以降にそれぞれの状況を踏まえて過去問を解くスケジュールを作成します。それまでは解かずにおいてください。

今年の6年生はもう少し基礎学力をつける時間をとるべきです。

繰り返し新小問を解くことを優先していきたいです。テキストがボロボロになるまで繰り返し練習しましょう。

5年生・6年生は週4コマの授業で進めていますが、それだけでは十分とは言えません。

これまで学習してきたことや類題の演習などを、自分の力で正確に解けるようにすることが求められます。ですから授業の前後や授業がない日も自主学習日を決めて学習に励みましょう。

### ○模擬テストについて

五ツ木の模擬テスト(5年生・6年生)

7月3日(日)

模試受験後は必ずやり直しをしましょう。

## ☆中学1・2年生☆

5月の中間テスト、中学1年生にとっては初めてのテスト前学習会・早朝学習会でした。

今年の1年生は意識が高い生徒が多く、これからが楽しみです。実をいうと昨年までの1学期の中間テスト対策は、1年生の学習時間は2、3年生より短い時間での時間割になっていました。早朝学習会も初回ということで、少なめの日程で設定していました。

しかし、今年の1年生は最初から2、3年生と同じレベルで取り組むことができます。

特に2週間前の土曜日(5月14日)はまだまだエンジンがかからない2、3年生より1年生の頑張りが目立ったように思います。

今の気持ちを忘れずに期末テストでもベストを尽してください。

2年生も成長を感じられた中間テスト対策でした。全体としてはまだまだ取り組みや意識のレベルアップをしてもらいたいのですが、一人ひとりを見るとこれからの更なる伸びが期待できます。継続は力なり。毎週の10分テストを続けていきましょう。

## ○中学2年生 夏期講習会について

学塾の方針として、受験学年は講習会必須受講をお願いしており、非受験生は任意参加です。ですが今期の2年生については、受験学年に向けてできる限りの受講をお願いしたいと考えています。一人ひとりの状況(得意不得意)により受講科目は変わってきますが、優先順位が高いのは英語です。英語は今学習していることだけでなく、これまでに学んできたことと合わせて知識を使い分けていく必要がありますが、全体としてその使い分けが苦手です。ひとつでもできることを増やし、複合した知識が必要な問題に対応できるようにしていきたいです。よろしくお願いします。

## ☆高校受験生☆

### ○夏期講習会について

夏期講習会は3つのコースを用意しています。

夏期特別講座(特進・標準):5教科を学習するコースです。17日間で50コマ(75分×50回)の授業があります。公立高校のB問題以上の出題校を考えている方はこのコースになります。ただし、課題テストや普段の学習の状況により受講を希望されてもお受けできない場合もあります。(その方には個別講習会をお勧めします。)

個別講習会:公立高校のA問題出題校が志望校の方にお勧めするコースです。基本事項を通常授業と同じ形式(1:2)で学習します。8日間で16コマの個別指導と土曜日に3日間12コマの演習を実施します。

単科受講:部活動や課外活動の推薦で受験するなど、夏に長時間の学習時間をとることができない人のためのコースです。普段の受講科目や夏以降のことを考えて受講科目・受講回数を決めさせていただきます。

高校受験生は上記のコースのいずれかが必須受講となります。  
受講コースについて迷われている方は、いつでもご相談ください。

### ○模擬テストについて

#### 五ツ木の模擬テスト

7月10日(日) 希望者のみ実施

受験希望者は申込書を提出してください。

\*9月以降は必須回となります。

## ☆高校生☆

中学生の頃から通塾してくれている生徒を見ていると立派になったと感じることが多々あります。昔なら笑っていた冗談も、クールに返されると嬉しいような寂しいような気持ちです。

今年の高校3年生はアルバイトや部活動で忙しい生徒が多いです。  
だからこそ時間の使い方を意識し、考えて勉強に取り組んでください。

9月からは本番に向けた試験対策(過去問など)を進めていくことになります。そうすると、夏休みの終わりまでには過去問に入ることができるような知識を身につけておく必要があるということです。  
これを踏まえ、ふたつアドバイスをおきます。

夏休みに入るまでに、この夏に取り組むことを明確にしておくこと。そして計画を立てておくことです。

「これができるようになればこの夏はOK」という内容が具体的であればあるほど受験勉強も捗ります。

10月からは公募推薦入試も始まります。

そこから進学先が決まるまでの道のりは長いですが、「自分に負けず強い気持ち」を持って学習に励んでいきましょう。

たくさんの方をご紹介いただき、誠にありがとうございます。  
新学年を機に塾を探している方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

### 新年度募集数

【高1～3】	若干名
【高校受験 中3】	募集終了
【高校受験 中2】	若干名
【高校受験 中1】	約10名
【中学受験 小6】	5名
【中学受験 小5】	4名
【中学受験 小4】	5名
【非受験 小学生】	5名